



世界が対立でなく融和を選択するとき

令和7年4月17日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

対立は、戦争の歴史における世界の現実である。過去は戦争において支配されたものであり、それらは唯一弱者の苦しみなのである。

世界が戦争の歴史の終焉を求めるとき、我々は新しい王を得るのである。戦争が終わるとき、人々はその歓喜を得るはずである。

これらは対立と戦争の終焉、競争が公正なルールにおいて与えられることなどは、新しい世界の枠組みへの正しい提案である。

これらは最も偉大な革命である。過去が戦争に支配されたことに対して、人々がその未来を選択するためである。

すべての対立の解決は、融和における世界の統一を得るのである。これらは正しい対立と戦争への理解は、人間性の原則の克服における未来の実現なのである。

これら人類の進歩は、対立を克服し、未来の創造を可能とできるのである。

政治はその対立から、融和という選択において世界への参加を求めるとき、現実の変化を与えられるのである。

これらは憎しみという行動原理から、愛という融和への転換である。すべての偽善性を排除し、真実という選択を世界が求めることは可能なのである。

過去から未来へ進むことは、唯一その希望を抱くものである。

新しいリーダーは世界を与え、未来を与えるのである。

これらは人類の進歩が与える新しい未来の現実であり、これら知性の進歩は未来の約束を有するのである。